

第 23 期

事業計画書および予算書

株式会社 四番町スクエア

第23期 事業計画

株式会社四番町スクエアは、集客の核となる観光交流センター「ひこにゃんミュージアム」と地域交流センター「ひこね街なかプラザ」の運営を通して中心市街地の活性化を担う第三セクター方式によるまちづくり会社として平成15年に設立され、本年度で22年目を迎えています。両施設のオープン当初は「国宝・彦根城築城400年祭」をはじめとする大規模な周年事業の成功などにより順調に売上げを伸ばしていましたが、イベント終了後は徐々に客足が遠のき、これが直営部門における売上の減少とテナントの撤退による賃貸収入の減少に、また、撤退したテナントスペースの直営化が不採算部門を抱えることにつながり、平成23年度以降連続して経常損失を計上することとなり、さらに、こういった状況にコロナ禍が追い打ちをかけることとなりました。

このため、令和5年4月には、市、金融機関、税理士法人に参画いただく中で、令和9年3月期までの5年間の経営改善の指針となる「経営改善計画書」を策定し、現在この計画書に沿って経営改善の取組を進めています。

こういった中、令和6年度の我が国の経済は、「総合経済対策の進捗に伴い、官民連携した賃上げを始めとする所得環境の改善や企業の設備投資意欲の後押し等が相まって、民間需要主導の経済成長が実現することが期待される。令和6年度のGDP成長率は実質で1.3%程度、名目で3.0%程度、消費者物価（総合）は2.5%程度の上昇率になると見込まれる。ただし、海外景気の下振れリスクや物価動向に関する不確実性が存在すること、令和6年能登半島地震の影響、金融資本市場の変動の影響等には、十分注意する必要がある。」とされています。

このような状況下、当社における令和6年度・第22期について、来店客数は、団体客、個人客ともコロナ前の水準にまで回復しています。また、一昨年リニューアルした「もへろんスタジオひこにゃんショップ」が大きく売上を伸ばし、加えて、昨年9月には、店舗の名称を「ひこね食賓館四番町ダイニング」から「ひこにゃんミュージアム」と改め、店舗2階にひこにゃんギャラリーとして展示スペースを設けたことが集客力の向上につながっています。さらに、平成30年度から返礼品の登録を行ったふるさと納税の売上については、季節限定の商品を積極的に返礼品に取り込んだことなどから、過去最高の売上を計上することができました。

こういったことから、当社の第22期決算につきまして、最終損益、経常損益とも一昨年、昨年に続き黒字化が図れるものと見込んでおります。

次に、当社における第23期は、新たな経営改善計画に沿って、引き続き徹底した経費削減に努めるとともに、これまで進めてきた団体の立ち寄り客および昼食客の積極的な誘致を目指した受入体制整備を進めてまいります。また、四番町スクエア協同組合と連携したイベントの展開やふるさと納税返礼品の積極的な登録などにより売上増を図りながら、経営収支のさらなる改善とともに当社設立の目的である中心市街地の活性化につなげてまいります。

原材料価格の上昇による仕入価格の高騰など経済環境の悪化といった見通すことができない要素もありますが、次期の予定損益は次のとおりと見込んでおります。

第23期予定損益計算書

株式会社四番町スクエア

コード	勘定科目	第21期（令和5年度） 決算額 全社	第23期（令和7年度） 予想額 全社	差額全社	備考
4111	賃貸収入	12,367,955	11,791,000	▲ 576,955	
4112	業務受託料等	18,295,391	14,675,000	▲ 3,620,391	
4113	売上高	273,756,070	332,250,000	58,493,930	
4114	受取手数料	1,883,632	720,000	▲ 1,163,632	
4115	売上値引戻り高（△）	0	0	0	
	【純売上高】	306,303,048	359,436,000	53,132,952	
5111	期首たな卸高	10,711,450	15,164,000	4,452,550	
5211	商品仕入高	217,182,224	263,659,000	46,476,776	
5213	仕入値引戻し高（△）	0	0	0	
	【当期製品製造原価】	0	0	0	
5273	他勘定振替高（△）	134,958	470,000	335,042	
5311	期末たな卸高（△）	15,164,019	18,409,000	3,244,981	
	【当期売上原価】	212,594,697	259,944,000	47,349,303	
	【売上総利益】	93,708,351	99,492,000	5,783,649	
6111	雑給	2,105,245	2,205,500	100,255	
6113	広告宣伝費	208,182	252,500	44,318	
6114	容器包装費	968,241	1,175,400	207,159	
6115	発送配達費	361,626	439,000	77,374	
6116	販売促進費	2,517,556	3,056,300	538,744	
6117	その他の販売費	291,542	353,900	62,358	
6211	役員報酬	2,700,000	4,560,000	1,860,000	
6212	従業員給与	26,834,236	28,122,000	1,287,764	
6312	法定福利費	2,394,957	2,509,000	114,043	
6226	厚生費	193,752	203,000	0	
6214	減価償却費	4,071,135	3,727,000	▲ 344,135	
6234	リース料	132,000	132,000	0	
6215	地代家賃	8,758,435	9,196,300	437,865	
6216	修繕費	540,026	1,620,000	1,079,974	
6217	警備保守料	2,622,784	2,884,000	261,216	
6218	通信交通費	1,786,659	1,964,000	177,341	
6219	水道光熱費	7,063,994	8,122,500	1,058,506	
6221	租税公課	4,016,000	4,200,000	0	
6222	現金過不足	0	0	0	
6223	接待交際費	163,393	163,000	▲ 393	
6224	保険料	992,810	1,062,000	69,190	
6225	備品消耗品費	3,792,242	4,171,000	378,758	
6227	管理諸費	1,416,460	1,557,000	140,540	
6228	諸会費	635,765	650,000	14,235	
6229	支払手数料	3,953,134	4,348,000	394,866	
6313	清掃廃棄物処理費	1,202,494	1,322,000	119,506	
	寄付金	30,000			
6314	貸倒償却	22,000	30,000	8,000	
6231	雑費	82,729	83,000	271	
	【販売費一般管理費計】	79,857,397	88,108,400	8,251,003	
	【営業利益（損失）】	13,850,954	11,383,600	▲ 2,467,354	
7111	受取利息	123	150	0	
7114	受取配当金	0	0	0	
7118	雑収入	289,130	250,000	▲ 39,130	
	【営業外収益 計】	289,253	250,150	▲ 39,103	
7511	支払利息	1,514,884	1,665,000	150,116	
7519	雑損失	130,637	130,000	▲ 637	
	【営業外費用 計】	1,645,521	1,795,000	149,479	
	【経常利益（損失）】	12,494,686	9,838,750	▲ 2,655,936	
	【特別利益】	0	0	0	
	【特別損失】	0	0	0	
	【税引き前利益（損失）】	12,494,686	9,838,750	▲ 2,655,936	
	【法人税住民税事業税・税効果】	185,517	185,517	0	
	【税引き後利益（損失）】	12,309,169	9,653,233	▲ 2,655,936	